

す

livelihood.  
 すきにかは(名) 透膠, 黄明膠, 水膠, 牛皮膠  
 Transparent.  
 すきにじ(形) 過, ふりにじ, むかしの Past,  
 gone.  
 すきにじかた 既往, こしかた, 嚮往, さきつかた,  
 以前 The past, former time.  
 すきとほる(自) 透通, 透明, 洞明, 透徹 To be  
 transparent.  
 すぎる(自) 過, 經過, 曠過 (「すぐる」をみよ) To  
 pass, to exceed.  
 すぎわか 杉若(氏) Sugiwaka (a family name).  
 すきがへし(名) 漉反, 反魂紙(古紙をすきがへし  
 たる粗紙) An inferior kind of paper.  
 すきがら 鋤柄(氏) Sukigara (a family name).  
 すきかせ 隙風, すきまもるかせ Wind blowing  
 through an opening.  
 すぎた 杉田(氏) Sugita (a family name).  
 すぎたに 杉谷(氏) Sugitani (a family name).  
 すきだす(他) 漉出, こしらへだす(紙を) To  
 make or manufacture (paper).  
 すぎな(名) 杉菜, 天花草, 間荆, つくづくし, 接續  
 草(植物) Horsetail.  
 すぎなり(名) 杉形(上細く下廣き形), やまなり  
 Conical, pyramidal.  
 すきうつし(名) 臨書, 臨臨, 寫影, 透寫(紙  
 を上にあててうつすこと) Copying by trac-  
 ing.  
 すぎうら 杉浦(氏) Sugiura (a family name).  
 すぎの 杉野(氏) Sugino (a family name).  
 すきくは 鋤藜, 耒耜(農具) A hoe and mattock.  
 すきくし(名) 密櫛, こまかきくし A fine toothed  
 comb, dense comb.  
 すきや(名) 敵奇屋, 作客, 茶寮, 茶室, ちやのゆの  
 ざしき A tea-room.  
 すぎやに 杉脂, すぎのきのやに The resin from  
 the fir-tree.  
 すぎやま 杉山(氏) Sugiyama (a family name).  
 すきま(名) 罅, 空隙, 入風, 空間, 罅隙, あひだ,  
 あはひ A crack, opening, interval, space.  
 すきま(名) 透間, あひだ, すき Space between,  
 interval, opening; leisure.  
 すきごと(名) 色事, 好色, いろごと Love matter,  
 sexual love.  
 すきこのむ(自) 嗜, 好, たしむ To like, to be  
 fond of.  
 すきあぶら(名) 梳油, 漉油, かみすくあぶら A  
 pomatum.

すぎさる(自) 過去, すぎゆく To pass way.  
 すぎゆく(自) 過行, すぎさる To pass, to go by.  
 すきみ(名) 透見, すかしみ Peeping, looking  
 through a crack.  
 すぎした 杉下(氏) Sugishita (a family name).  
 すぎじむかし 往昔, 往時 Former days, ancient  
 times.  
 すきしや(名) 敵奇者, 好者, ちやのゆし A tea-  
 making master.  
 すきびたひのかむり 透額冠, 薄額冠(冠の名)  
 A kind of hat.  
 すぎびやくしん 杉扁柏(植物) The juniper  
 tree.  
 すぎもと 杉本(氏) Sugi (a family name).  
 すきもの(名) 賞鑒家, 好事者, 好士 An admirer,  
 an antiquarian.  
 すきん 素金, げんきん Ready money; cash.  
 すめる(形) 清, きよき; 澄(水が) Pure, clear,  
 limpid.  
 すめがみ 皇神(天皇を尊稱する古語) The  
 Emperor.  
 すめらみこと 天皇, 皇帝, 天子(天下を總統する  
 任を帯る者の意義) The sovereign ruler.  
 すめのおとげ(名) 白前(植物) The name of a  
 plant.  
 すめみまひ 皇孫(天子の御孫殊に天照大神の孫  
 瓊瓊杵尊を稱す) The sun-goddess's grand  
 son.  
 すめん 素面(脂粉を塗りざる顔, または面[めん]  
 を着けざる顔), すがほ Bare face.  
 すみ(名) 隅, かたすみ, 阪, 隅, 維, 邊隅, 僻隅,  
 四隅; 角, かど Corner.  
 すみ(名) 墨, するすみ, 松滋侯, 玄雲, 烏金鈔, 墨,  
 玄箱, 龍劑, 磨媒, 蘇爾, 玄俵 A stick of ink,  
 Indian ink.  
 すみ(名) 炭(木を蒸焚て作れる者) Charcoal.  
 すみ 鷺見(氏) Washimi (a family name).  
 すみ(名) 野桑, ひめかいだう(植物) The pyrus  
 Toringo.  
 すみいろ 墨色, くろきいろ; (又人相をも然か謂  
 ふ) The color of ink; also physiognomy.  
 すみいけ(名) 墨池, すざり An ink stone.  
 すみぼうし 角帽子, かくぼうし A kind of hat.  
 すみばさみ(名) 墨挾, すみつか(墨束) An ink-  
 holder.  
 すみにこり 清濁, きよきよからぬ Pure and  
 impure.  
 すみとり(名) 炭斗, 烏府, 收炭器, 炭籠, 炭籠,

(いお)ろはにほへどちりぬる(を)あかよたれうつねらな

す

炭籠, すみいれ A coalscuttle.  
 すみとり(形) 隅取, 殺隅, すみきり(隅を切りた  
 る) Having the corners cut.  
 すみとりふくべ(名) 匏瓜, なりひさこ, ふくべ(植  
 物) A gourd.  
 すみどころ(名) 住所, 住居, すまひ, むどころ  
 Residence, dwelling.  
 すみちがひ 角違, 隅違(角より角に直ぐに渉るを  
 謂ふ) Lines drawn diagonally from the oppo-  
 site corners.  
 すみか(名) 住家, 住所, すむところ; 栖, ねくら(雀  
 鳥の), 棲處 Dwelling house; nest.  
 すみがね(名) 墨曲尺(工匠の用ふる器), さしがね  
 Carpenter's square.  
 すみがま(名) 炭籠, すみやきがま A charcoal  
 kiln.  
 すみかき(名) 炭鉤, 鉤鈴, おきかき A fire-  
 scraper; a poker.  
 すみよし 住吉, 住江(攝津國の名區) Sumiyosh  
 (a proper name).  
 すみだばら 炭俵, すみいれだばら A charcoal  
 bag.  
 すみれ(名) 堇, 苦董, 早芹, 早葵, 紫花地丁, 一夜草,  
 手向草(植物) The violet.  
 すみれいろ(名) 重花色(紫色に云ふ) Violet  
 color.  
 すみがめざくら 墨染櫻(山城國深草にあり)(植  
 物) A kind of cherry-tree.  
 すみつぼ(名) 墨斗, 墨孟, 墨汁器, すみいれ An  
 ink pot.  
 すみつか(名) 墨束, すみはさみ An ink-  
 holder.  
 すみつき(名) 墨着, すみのつきかた(紙に) Way  
 of taking ink.  
 すみつき(名) 墨附(將軍の記名ある文書をいふ)  
 A paper bearing the sign-manual of the Shō-  
 gun.  
 すみなは(名) 編墨, すちうちなは(大工の) An  
 inked line; a carpenter's line.  
 すみながし(名) 墨流(墨を流したる如くに彩れ  
 る紙等をいふ) Marbling.  
 すみなれる(自) 住馴, おなれる, おつける To be  
 accustomed to live.  
 すみうち(名) 墨打, すみひき, 緋, すみさし(大工  
 の) A stick for drawing lines.  
 すみのやま 須彌山, しゆみせん Mount  
 Sumeru.  
 すみのころも 墨衣, 緇衣, くろころも A black

garment of the Bud. priests.  
 すみや(名) 炭店, たくすみうるいへ, 炭炭家 A  
 seller of charcoal.  
 すみやか(形) 速過, 頓, 亟, 迅, 迅速, 急速, 早速, 速  
 急, 神速, 俊速, 駭急, 最急, 火急, はやき Quick,  
 swift, rapid.  
 すみやかにほんろうす 透奔走, はやくゆく A  
 pot for extinguishing charcoal fires.  
 すみやくら(名) 角矢倉, 角櫃, かどのものみ A  
 corner tower.  
 すみやき(名) 炭焼, 燒炭者, すみやくひと; すみや  
 くこ A charcoal burner.  
 すみやきたひ(名) 烏頓魚(動物) A kind of sea-  
 fish.  
 すみけし(名) 墨消, すみにてけすこと Clotting  
 out or erasing with ink.  
 すみけし(名) 炭消, 焔缶, ひけしつぼ A pot for  
 extinguishing live charcoal in.  
 すみあらす(他) 住荒, 棲老, 住損, すみをり  
 てあらす(家屋を) To injure by dwelling  
 in.  
 すみざけ 清酒, こしざけ Strained sake.  
 すみさし(名) 墨刺, 緋, 墨窓, 簀墨, すみひ  
 くふで(大工が) A stick for drawing  
 lines.  
 すみぞ(名) 桶(屋根の隅隅に置く大なる木)  
 Corner rafters in a roof.  
 すみゑ 墨畫, 素畫, 水墨繪(墨ばかりにて  
 書たる畫) A picture drawn with ink,—not  
 colored.  
 すみび(名) 炭火, おき; 又 すみのひ Coals of  
 fire, live coal.  
 すし(名) 鱒, 鮭, すづけめし(飯に醋をかけて魚類  
 等をあはせて調ふ食物) A kind of food  
 seasoned with vinegar.  
 すじ 數次, たびたび, 數回, 數度, あまたたび  
 Several times.  
 すじろ(形) 不覺(「ろろ」に同じ) Involun-  
 tary.  
 すじつ 數日, いくらのひ, あまたのひ(十日以下  
 に止る) Several days.  
 すじやう 素性, うまれ, 種姓, いへがら Natural  
 disposition; lineage.  
 すしゆんでんわう 崇峻天皇(人皇第三十二代の  
 帝) The Emperor Sushun.  
 すゑ 陶師所, 陶器所(氏) Sue (a family  
 name).  
 すゑ(名形) 末, 季, をはり; 抄, うら The end,

むうのくやまけふこてあさきゆめか(は)あひもせすん



す  
extremity; last; top-most.  
すねる 餜, くさる (食物の) To be putrified or spoiled.  
すねる [或すうる] (他) 居, 置, 据, 安置, おく, たつる To place, put, set up; found, establish.  
すねをけ (名) 坐桶, すねたるふろをけ A bath-tub.  
すねがま (名) 窯, せとものやくかま A potter's kiln.  
すねつかた 末方, 終頭, をはりのかた Last part, portion towards the end.  
すねつむはな (名) 末摘花, 紅花, べにばな Saffron flower; autumn-crocus.  
すねつぐ 末次 (氏) Suetsugu (a family name).  
すねなり (名) 末結, をはりなり (果實の), をはりはつもの Last fruits.  
すねのよ 季世, 末世, 末代, 澆末 Last generation, deteriorated age.  
すねのむすめ 末女, をはりのをんなご Youngest daughter.  
すねのこ 末子, ばつし, 季子, おとこ Youngest son.  
すねくさる (自) 餜, 餜, 餜, 餜, くさる (飯魚等が) To be spoiled or putrified.  
すねふろ (名) 居風呂, おきぶろ (家の内に設くる浴桶) A bath-tub.  
すねひろ (名) 末廣, 中啓, 折腰, 折扇, さきのひろきあふぎ, あふぎ (扇) A fan.  
すねもの (名) 陶器, せともの, やきもの, 磁氣, 瓦器 A pottery, porcelain.  
すねものつくり (名) 陶器師, 陶家, 陶人, 陶工 (陶器を焼き造る人), せとものじ A potter, porcelain-maker.  
すねものくるま (名) 陶鈞, 旋盤, せとものろくろ A potter's lathe.  
すねものし (名) 陶器師, せとものつくり A potter.  
すねぜん (名) 供膳, すねるなへたるぜん A table set before any one with food on it.  
すねずる 末末, ゆくすね Long future; lower classes.  
すねとりがみ (名) 吸墨紙, すみすひがみ A rubbing paper.  
すねとる (他) 吸取 (口にてすねとる) To suck out.  
すねかつら (名) 忍冬 (にんどう), 左纏藤, 金銀花, 金銀藤, 鶯鶯 金銀股, 通靈草 (植物) The honey-suckle.

すひがら 吸灰, ふきがら, 吹灰 (たばこの) The ashes of tobacco.  
すひよする (他) 吸寄, すひてひきよする To bring near by sucking; to attract.  
すひたす (他) 吸出 (口にてすひていたす) To suck out, draw out by suction.  
すびつ (名) 地爐, おろりつば A brasier, hearth-stone.  
すびづつ (名) 吸筒, 酒竹筒, 瓢樽 (酒を容るる筒) A section of bamboo or gourd used for carrying sake.  
すひつく (自) 吸着, すひてくつつく (蛭吸角子等が) To stick fast by suction.  
すびな (名) 巢雛 (巢の中に在る鳥の子), すこもり A nestling.  
すひくち (名) 吸口, 吸嘴 (管等の口に入れて吸ふべき所) The mouthpiece of a pipe.  
すひふくべ (名) 吸角子 (血を取る具) A cupping-glass.  
すひこむ (他) 吸込, すひいれる To suck in.  
すひあぐる (他) 吸上, すひてのぼらしむる To suck up.  
すびき (名) 索引, 素引, 徒繩 (弓に矢をつがへずしてただ繩 (事) Drawing an empty bow.  
すひもの (名) 吸物, すひてくらふもの (料理の名) A soup.  
すひものわん (名) 吸物碗 (吸物もる所の具) A soup bowl (made of wood).  
すひものぜん (名) 吸物膳 (吸物のする所の臺) A low table.  
すもどり (名) 素還, 素反, 素戻, いたづらにかへること, むなしくかへること Returning empty-handed.  
すもり (名) 曠 (卵の孕化せざるべき者を云ふ), かへらぬたまご An unfecundated or barren egg.  
すもり (名) 巢守, すまもるとり The bird that watches the nest.  
すもたら 蘇門答刺 (亞細亞海の一島) Sumatra.  
すもじ (名) 鮓, すし (婦人の詞) The same as Sushi.  
すもも (名) 李, 黃舌 (植物) Prunus triflora, a kind of plum.  
すす (名) 煤 (煙より生ずる黒き粉) Soot.  
すず (名) 筴, すげ (植物) A small kind of bamboo.

(い)ろはにはへとちりぬる(を)おわかよたれうつねなら

すず (名) 鈴, ふりならすかね; 鐘, 鐃 (甲圖は大和國法隆寺の所蔵; 乙圖は紀伊國高野山龍光院の所蔵 弘法大師の所持といふ) A bell.  
すず (名) 錫, 鉛 (鈴の如き金屬) Tin.  
すず (名) 數珠, 念珠 (僧徒のつまぐる具) A rosary.  
すずお 酒酒井 (氏) Suzui (a family name).  
すずろ (形) 不覺, 坐, うがる Involuntary.  
すずろあるき (名) 漫行, あろびあるく, 散歩, 遊歩 Roaming, wandering about.  
すずはな (名) 涙, すずりばな, みづはな A thin mucus from the nostrils.  
すずはき (名) 煤拂, すずはらひ House cleaning.  
すずぼる (自) 煤除, 煤黒, くすぼる, すずける To become foul with soot.  
すずざり (名) 鶯, ちん (動物) A kind of phoenix.  
すずどき (形) 驍, 峻刻, 活潑, すずどい Quick, energetic, smart.  
すずり (名) 硯, 即墨俵, 筆海, 鳳味, 陶泓, 溪源, 龍壁, 張芝, 陳玄, 龍淵, 鄰瓦, 端溪, 蟾眼, 研墨池, 松蘇利, 墨池, すみするうつは (其形種種あり本圖なるは江戸の商人岡部所蔵) An inkstone.  
すずりいし (名) 硯石, すみするいし An inkstone.  
すずりばこ (名) 硯匣, 硯箱, すずりいるはこ An ink-box.  
すずりだい (名) 硯臺, すずりをはむるだい An inkstand.  
すずりなき (名) 嗚泣, 歎泣, くしくしなき, しやくりなき A sniffing cry.  
すずりのうみ 硯池, 紫石潭 (硯の深き處) The depression on an ink-stone.  
すずりくすり (名) 藥, すずりこむくすり An

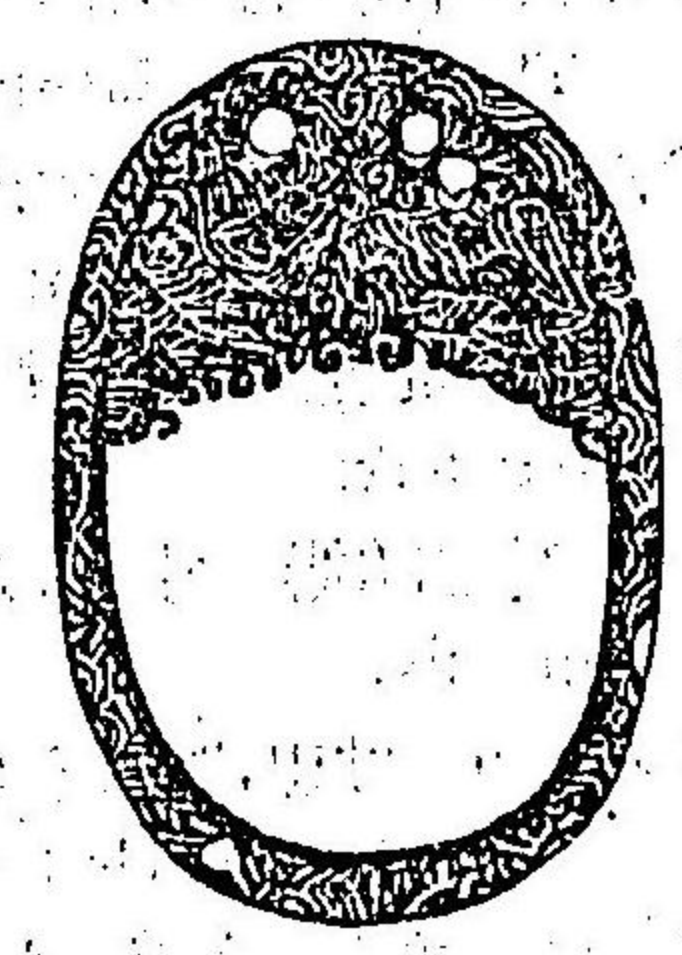
(鈴の圖)



(乙)



(硯の圖)



errhine medicine.  
すずりぶた (名) 硯蓋 (木盆の大なる物) A large tray or way.  
すずりきり (名) 硯工, すずりいしをきるもの; また 硯業 An ink-stone cutter; ink-stone cutting.  
すずりみづ (名) 書滴, 硯滴, すずりのすみ Ink in a ink-stone.  
すずりし (名) 硯匠, 硯工, すずりつくり An inkstone maker.  
すずる (他) 吸, 飲, すずりこむ To sip, sup, to sniff.  
すずかけ (名) 蓑懸 (修験者の服) A kind of priestly garment.  
すずかも (名) 刁鴨, たかべ, 小小鴨 (動物) Fuligula marila.  
すずかせ 冷風, 涼風, すずしきかせ A cool wind.  
すずたれる (自) 煤垂, すずける, すずぼる To become dirty with soot.  
すずたけ (名) 煤竹 (籠等の上に置て煤にて染めたる竹) A bamboo blackened by smoke or soot.  
すずたけちや 煤竹茶 (染色の名) Sooty brown color.  
すずな (名) 莖蓍, かぶらな, うきな, あをな, 莖 (植物) Turnip.  
すずなり (名) 鈴成 (果實がかたまり結ぶを謂ふ), 巢結 Bearing (fruits) in abundant clusters.  
すずなり (名) 鈴形, すずがた A bell shape.  
すずなまり (名) 白鐵, びやくらふ Pewter.  
すずらん (名) 米蘭 (植物) Epipactis gigantea.  
すずむ (自) 進, 前, 前進, まへへでる To advance, to go forward.  
すずむ (自) 追涼, 納涼, 逐涼, 乘涼, 避暑, あつさをさます To cool one's self.  
すずむ (他) 進, 薦, 勸, 晋, 奨, 奨勵, 勸奨, 勸進, 勸告, こころろへる, いさむる To put forward, present; to recommend; to exhort, encourage.

す

むうのくやまけふこてあさきゆめみし(はる)ひもせすん



す

すずむし(名) 鈴虫, 金鐘蟲, 月鈴兒, 金琵琶, 金鐘子(動物) A little singing insect.  
 すずのとくり(名) 錫埴瓶子, すずびん A tin bottle.  
 すずのを 鈴緒, すずひも The cord of a bell.  
 すずく(他) 濯(衣を); 漱(口を); 雪(耻を); あらひきよむる, ろうろく To wash, cleanse.  
 すずくち(名) 鈴口, 鐺口, すずのくち The mouth of a bell.  
 すずくさ 王不留行, かさくさ, けまんさう(植物) *Dicentra spectabilis*.  
 すずやか(形) 朗清, すばすばしき Clear, serene; refreshing.  
 すずける(自) 煤腫, すずぼる, すずにくまる To become dirty or foul with foot.  
 すずふりばな(名) 澤漆(植物) A species of plant.  
 すずき(名) 芭, 芭茅, 芭芭, 杜榮, 薄(植物) *Eularia japonica*.  
 すずき 鈴木(氏) Suzuki (a family name).  
 すずき(名) 鱧(支那國の松江及び本朝出雲の松江に産するもの尤も名あり(「ろぞよ」を見よ)(動物) *Labrax japonicus*, a kind of perch.  
 すずきだ 薄田(氏) Susukida (a family name).  
 すずきだ 鈴木田(氏) Suzukida (a family name).  
 すずきのはな 芭花, をばな The flowers of the *Eularia*.  
 すずぎあらふ 盥滌, あらいきよむる(「すすぐ」をみよ) To wash, cleanse.  
 すずめ(名) 雀, 鶯, 瓦雀, 鶯雀(動物) The sparrow.  
 すずめうり(名) 馬陶兒, 馬咬兒(植物) *Melothria Regelii*.  
 すずめうを(名) 海牛魚(動物) *Manaus australis*.  
 すずめのやり 地樹梅(植物) The name of a tree.  
 すずめのまくら(名) 看麥娘, 雀麥, すずめのちやひきくさ(植物) *Bromus japonicus*.  
 すずめのふん 雀糞, 白丁香, すずめくろ Sparrow's dung.  
 すずめのこ 黃雀, こすずめ A young sparrow.  
 すずめのあわ(名) 九熟草, 烏禾(植物) The name of a plant.  
 すずめのもたい 雀翅, すずめのだひ, 蛤蜊房, 躁舎, けむしのさなぎがら The chrysalis of a hairy caterpillar.  
 すずめふく(名) 細魚(動物) A kind of *figu*.  
 すずめこゆみ(名) 雀小弓, 雀的, ちひさきゆみ

A small bow.  
 すずめさとす(他) 勸諭, 勸解, 勸説, 勸告, 勸懲 To exhort, instruct; to admonish.  
 すずめゆみ(名) 雀弓, すずめのこゆみ A small bow.  
 すずみ(名) 烽, のろし A beacon.  
 すずみ(名) 涼, 納涼, すずむこと Taking cool air; cooling one's self.  
 すずみいづる(自) 進出, まへへいづる To come forward, to advance.  
 すずみどころ(名) 清室, 涼室, すずむいへ A cooling room.  
 すずみだい(名) 涼臺, すずむところのだい, 涼榻 A cooling bench.  
 すずみや(名) 涼亭, 納涼亭, すずむちん An arbor.  
 すずし(名) 生絹, うすぎぬ, しや A thin silk gauze.  
 すずしろ(名) 髻(小兒の髪を剃て餘す所を云ふ) A tuft of hair left unshaved.  
 すずしろ(名) 蘿蔔, おほね, 大根(植物) Radish.  
 すずしき 涼, 清涼, 爽涼, あつくあらぬ Cool; refreshing.  
 すん(名) 寸(一尺の十分の一), 十分, ひときだ An inch.  
 すんいん(名) 寸陰, すこしのひま An inch of time.  
 すんばく(或すばく)(名) 寸白(婦人の腰の病) The same as *Subaku*.  
 すんばふ(名) 寸法, 寸尺, おほきさ; ながさ, 尺 Dimensions, measure.  
 すんど 寸土, 寸地, すこしのおち An inch of territory.  
 すんど[俗][副] 寸斗, たいぶ, たくさん Much, greatly.  
 すんちう 寸忠, すこしのみこころ(君王等に對しての) Humble feeling of fidelity.  
 すんか 寸暇, 寸隙, わづかのひま A moment of leisure.  
 すんがう 寸毫, わづか A little.  
 すんだん[する](他) 寸斷, きりきざむ, 寸裂 To cut into pieces.  
 すんぶん 寸分, すこし, わづか A little.  
 すんこう 寸功, すこしのでがら A little, the least.  
 すんてつ 寸鉄, わづかのくろがね, すこしのはもの A short piece of iron.  
 すんさ(名) 寸草, つた, すた(壁土にいろる) Cut

(い)ろはにほへとちりぬる(を)おわかまたれうつねなら

す

straw or hemp to be mixed with plaster.  
 すんざり(名) 直切, すくきり(竹等の), よこざりたけ A cross section.  
 すんじ 寸志, 寸情, すこしのこころざし(謙遜の語) Humble desire, kind feeling.  
 すんじやう 寸情(寸志に同じ) Same as *Sunshi*.  
 すんじやく(名) 寸尺, さしわたし, おほきさ Dimensions.

すんしん 寸心(寸志に同じ) Same as *Sunshi*.  
 すんぜん 寸善, すこしのおきこと A little good or fortune.  
 すんぜんじやくま 寸善尺毫(おき事少く悪き事多きを謂ふ) An inch of good and a foot of evil.  
 すんざん[に] 寸寸, きれぎれ, づたづた [In] pieces.

大尾 THE END.

むうのくやまけふこてあさきゆゆみし(は)あひもせすん



## 著作顛末

指折り數フレバ既ニ四年ノ昔明治十八年ノ秋余偶西洋字書ヲ緝閱シテ慨然感ズル所アリ謂ヘラク彼ヤ萬事ニ精巧ニシテ爲ス所トシテ輕便利用ヲ極メザル無シ、彼ノ字書タル浩瀚ナラザルニ非ズト雖モ其文字ヲ搜索スルニ至テハ恰モ囊中ノ物ヲ搜ルガ如クニシテ其得易キ事掌ヲ反スニ似タリ、之ヲ以テ我國從來ノいろは引筋用集ニ比スルニ其便否果シテ如何ンゾヤ、今ハ是一刻千金ノ世ナリ、日夜孜々文明ノ途ニ奔馳シテ尙日ノ足ヲザルヲ歎ズルノ時ナリ、此貴重時間ニ在テ焉ンゾ此迂遠遲緩ヲ極ムルノ器械ヲ頼ム可ンヤ、今日ノ一大要務ハ此文學ノ媒介者タル日本辭典ヲ改良シテ西洋字書ト同一ノ地位ニ立タシムルニ在リ、是ノ如クニシテ始メテ文學ノ隆盛希フ可ク、長足ノ進歩期ス可シト

爾來此思想余カ心裏ニ纏綿シテ去ル能ハズ、如何ニモシテ此思望ヲ徹貫實行セント夙夜苦慮シテ措ク能ハズ、然リト雖モ此事業タル時學金ノ三者ヲ具有スルニ非ザレバ決シテ行ナフ能ハズ、然カルニ余ハ身劇務ニ從事シテ此事業ヲ爲スノ時間ヲ有セズ、又余ハ志學ノ頃國難ニ遭遇シテ充分ノ教育ヲ受クル能ハザリシ故ニ之ヲ親ラスルノ學力ヲ有セズ、加之其際兵燹ニ罹リテ家資祿ヲ烏有ニ歸セシメタルヲ以テ之ヲ完成スルノ資力ヲ有セズ、余ヤ既ニ此必要ナル時學金ノ三者ヲ有セズ空シク望ヲ懷イテ着手スルヲ得ズ、越テ明治十九年ニ至レリ、此年ノ四月十五日余粟屋某氏ト面晤スルノ際偶然氏ノ一言大ニ余カ宿志ニ非常ノ刺撃ヲ與ヘ最早片時モ躊躇スル能ハズ、自ラカヲ謀ラス斷然此創業ニ屬スル至難ノ辭典ヲ著作セント決心シ、則チ分業ノ便法ニ準據シ、第一時間ヲ要スル材料蒐集排列校合等ニ於テハ漢學ノカアリ且ツ正實勉勵ナル横地正邦渡邊精次郎大谷木忠醇小野里平横地寛三郎武田貞雄安川孝吾外島信ノ諸氏ニ托シテ充分之レガ下調ヲ爲サシメタリ、第二學力ヲ要スル和漢語又ハ假名遣ヒノ訂正取捨及英語ノ對照等ハ



學和漢洋ヲ兼子蚤ニ博覽強記ノ譽高ク雷名遠ク歐米ニマデ聞エタル高橋五郎君ニ托シタリ、第三資金ハ余カ僅カニ有スル所ヲ擧ゲテ之ニ投シ原稿粗々成リ將ニ印刷ニ付セントス、而シテ資金既ニ竭ク、是ニ於テ小野田元瀨氏ノ紹介ト小池太代二氏ノ斡旋トニヨリテ金原明善氏ニ謀レリ、氏ハ熱心ノ愛國士ニシテ公益ノ爲ニ一身ノ利害ヲ顧ミズ曾テ私財ヲ投ジテ天龍河ノ改浚ヲ成功シ、今又巨萬ノ資財ヲ擲テ山林培養ニ盡カシ、其生育ヲ待テ將ニ之ヲ公益ノ爲ニ獻セントス、是ニ由テ其公益ヲ計ルノ一端ヲ窺フ可シ、金原氏余ノ素志ヲ聞クヤ、深ク其世間ニ有益ナル可キヲ嘉シ抵當ノ多寡有無ヲ論ゼズシテ巨資ヲ投與セラルルニ至ル、余ハ常ニ寢遊ノ時間ヲ省減シテ此事業ヲ總轄セリ、蓋シ一事業ヲ爲スニ當リテハ巨多ノ害物前路ニ横ハルガ如キハ數ノ免レザル所ナルガ故ニ此事業ニ於テモ思ヒ設ケザル三舟渡邊君ヨリ訴求ヲ受ケシガ如キ數多ノ障礙有リシト雖モ悉ク之ヲ排除シテ遂ニ今日此大事業ヲ完成スルニ至レリ、是皆以上諸氏ノ誠實勉勵ナルニ由ル者ニシテ余カ欣喜シテ止ム能ハザル所ナリ、本書幸ニシテ我邦文學上ニ裨益ヲ與フルニ至ラバ余カ宿志ノ一分ハ既ニ成レリト謂フ可シ、今本書完成ニ臨ミテ此事業ノ顛末ヲ畧叙ス、于時明治二十一年四月十五日丹羽五郎謹識

### 五大新聞二大雜誌

#### 批評

**出版月評** 字書ノ學考ニ必要ナルハ杖ノ盲者ニ缺ク可カラザルト一般ナリ、文字ノ關ニ會フコトニ字書ノ杖モテ授ラザル可カラズ、歐米諸國ハ勿論支那ニテモ字書ノ撰太ク細シキハ世人ノ熟ク知ル所ナルガ、目下文字ニ熱心タル我國ニシテ會テ字書ノ種類ノ備ハラザルハ不思議ニモ亦遺憾ナル次第ナリ、且フ我國ノ學者ハ二種ノ字書ヲ要ス可シ一ハ讀書ニ資スルモノ、一ハ作文ニ資スルモノ、是ナリ、其讀書ニ資スル字書ハ漢洋トモニ我國ニテ譯解對照セルモノ其數尠カラズト雖モ、作文ニ資スルモノニ至リテハ漢字ニイロハ音早引簡用ノ類、英語ニ平文ノ辭典ノ類、一ニ有ルノミ、今此いろは辭典ハ純粹日本語並ニ吳音漢音ナル普通日本語ヲ本トシイロハ順ヲ用キ漢語英語ヲ索引スルノ法ヲ設ケタルモノニシテ豫約ニヨリ今回出刊セシ第一冊ハいヨリ至ルノ部ナリ其撰次ノ精シキ近コロ稀ニ見ル所ニシテ著者ノ勞モ亦想フ可シ苟モ筆ヲ執リテ和漢英ノ文章ヲ草スルモノハ此書ニ頼リテ得ル所多カル可シ(明治二十年十二月廿五日發兌第五號)

**國民之友** 辭書ノ必要ナルヤ固ヨリ云フ迄モナシ、然レモ日本ニ有リ古レタル、簡用書〔以呂波韻〕杯ノ如キハ、實ニ不完全ニシテ、字數甚タ少ク、加フルニ搜字法迂遠ヲ極メ、誠ニ一字ヲ搜スニモ殆シト一時間ヲ要シ、幸ニシテ搜當リタルモ唯一漢字ヲ見認ムルノミニシテ、更ニ之レニ解釋ヲ下ス者ナシ、然ルニ今ヤ日本字引ヲバ、日本人ノ爲メニ、日本人ノ手ニ依テ、學理的ノ方式ニヨリテ著述シタルハ、即チ斯ノ〔いろは〕辭典ヲ以テ始メトス、蓋シ此ノ書ハ、學和漢洋ヲ兼テ蚤ニ博覽強記ノ譽アラハ、高橋君ノ手ニ成リタル者ナレバ、其正確ニシテ間違ナキハ、吾人ガ保證スル所ニシテ、其體裁タルヤ、西洋字引ニ倣ラヒ、いろは順ヲ逐フテ每語ヲ掲ゲ、一々其釋義ヲ付シ、漢語ト英語ト之ニ相當スル類語ヲ多ク列記シタルハ、其搜索ノ語、手ニ應シテ顯ハレ來リ、其意義一目ニ瞭然タリ、サレバ斯ノ書ハ、重モニ和漢學者ノ爲メニ造リタルモ、傍ラ洋學者ノ爲メニ便スル工夫ナレバ、斯ノ三學者、何レニ於テモ、用キ得ラザルナシ、勿論斯ノ者タルヤ、創業ニ屬スル者ナレバ、其誤チ無キヲ期シ雖シト雖モ、一人ノ手ヲ以テ、斯ノ如キ大ナル著述ヲ爲スハ誠ニ稀有ナル事ト謂ハザル可ラズ(明治廿一年一月廿日發兌第十四號)

いろは辭典第二、第三モ亦已ニ豫約出版シタリ、本書ノ事ハ第一冊出版ノ際ニ評シ置キタレハ今爰ニ發セズト雖モ第二、第三冊出デテ細クノ光ヲ増シ、始密終疏ノ弊ナキハ、吾人ノ保スル所ナリ(明治廿一年三月十六日發兌第十八號)

**朝野新聞** 本書ハ五冊ニテ全備スルモノナレバ全部ノ定價ハ五圓五十錢ナルベキニ豫約者ニハ特別ノ割引ヲ爲シ五冊ヲ三圓八十錢ニテ發渡ス趣向ナリ而シテ豫約ノ申込所ハ銀座四丁目ノ博聞社、神田小川町日進堂、同區雉子町ノ圓々社支店等ニテ何レモ手堅キ書肆ナリ今其ノ第一回ヲ發兌シタル所ニ就テ見ルニ料紙ハ麗白ノ洋紙ニシテ印刷モ鮮明ナリ辭典ノ体裁ハ表題ノ如クいろは順ニテ我輩ム所ノ文字ヲ引出ス事ナルガ漢字ニ對スル英語アリ倭訓アリテ漢英對照トハ云ヘ其實和漢英對照ノ實アリテヘボン類似ノ好字典ナリ(明治廿一年二月七日發兌第四千二百八十五號)

**時事新報** 近來英和字書ノ梓ニ上ルモノ汗牛充棟管ナラス是レ世間ノ需用アルニヨリテ起ルト云ハンヨリハ寧ロ之ヲ著譯スルノ容易ナルガ故ナリトシテ可ナラン何ヲ以テ容易ナリトイフ他ナシ先人ノ著譯ヲ剽竊編綴スルヲ以テナリ見ルベシ前後綴出スルモノ多クハ徒ニ改良訂正ヲ名トシテ毫モ其實ナキニ非スヤ高橋五郎氏著漢英對照いろは辭典ハ本邦ノ文字ニ漢英ヲ對譯シタルモノニテ其便利正確ハ勿論新文字甚タ多クシテ著者ノ勞充分ニ顯レ其ノ杜撰譚ルナキモノノ比ニ非ス我輩ハ



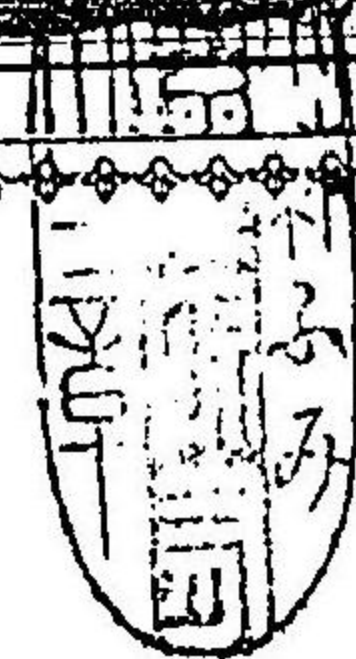
世ニ其良書タルヲ吹聴スルト同時ニ文學世界ノ爲メニ別ニ喜ヲ表スルモノナリ今度出版シタルハ第二冊マデナルガ引續キ遂ニ完成スルハ著者應ニ任スベキノ貴ナルベシ(明治廿一年二月十一日發兌第千八百三十五號)

高橋五郎氏著いろは辭典ハ引續キ第三冊ヲ發行シタリ此編ハ(た)ヨリ(ま)ニ至ル迄ノ所ニテ字數ノ多キ譯語ノ妥當ナルハ前二冊ト同様ナリ(明治廿一年三月十五日發兌第千八百六十四號)

東京日々新聞 近來英和兩便ノ字書刊行ニ係ルモノ其類多シト云ヘドモ大方ハ編纂簡畧ニシテ語數甚ダ少ク亦搜字法迂遠ニシテ學生有益ノ辭書アルコトナシ高橋五郎氏ガ編著セシ本書ハ從來ノいろは節用集索引法ヲ改良新案シテ漢英兩語ヲ對照セリ加フルニ處々圖畫ヲ挿入シタレバ和漢英ノ三語ニ通曉シ得ヘキ大字書ト云フベシ銀座ノ博聞社小川町ノ日進堂等ニテ預約法ヲ以テ販賣スルト云フ既ニ(ま)字ノ部マデ出版セリ(明治廿一年三月廿四日發兌第千九百十三號)

郵便報知新聞 近來外國語ヲ日本語ニ譯示スル辭典ノ書ハ夥シク出版ニナリタレドモ多クハ相似タル者ニシテ謂ハユル屋下ニ屋ヲ架スルノ類ヲ免レズ學者ニ辭典ノ必要ナルハ勿論ニテ余輩ハ其書ノ多キヲ喜フト共ニ一方ニハ勵モスレハ踏襲ノ弊アルヲ嘆シ寧ロ其學力ヲ新ラシキ別途ノ方角ニ振向ケテ更ラニ學者ニ嘉惠スルノ舉アラハ一層ノ公益タランヲ思フニ屢々ナリ本書ノ如キハ余輩カ望ム所ノ別途ノ方角ニ出テタル者ノ一ナリ茲ニ一個ノ日本語アリトシ之ヲ此書ニヨリテ索引スレバ其語ノ下ニハ其語ノ漢字及ヒ英譯ヲ附シアリ少シク六ヶシキ語ニハ其ノ意義ヲ解釋セル假字及ヒ英字ノ註サヘ添ヘアリ故ニ日本人ニハ此ニヨリテ漢字及ヒ英譯ヲ知ルノ便アリ外國人ニハ(若シ(いろは)サヘ知リ居ラハ)此ニヨリテ其語ノ意義ヲ知ルノ便アリ是迄世間ニテ此種ノ辭典ハ未ダ曾テ見受ケサレハ其ノ創始ノモノナル處ハ即チ此書ノ最モ價アル所ナリ目下第四冊(さ)ノ字ノ部マデ出版セリ遠カラズ大成ヲ見ルベシ(明治廿一年四月五日發兌第千五百五十二號)

毎日新聞 漢英對照いろは辭典ハ高橋五郎氏ノ著ニシテ其名ノ示ス如クいろは順ニ和語ヲ掲ゲテ解釋ヲ附シ之ニ對照スルニ漢語ト英語トヲ以テシタルモノナリ此點ハ他ノ辭書ニモアルニテ必スシモ本書特有ノ者ニアラザレドモ其解釋對照ノ親切懇篤ナルト其配列ノ周到ナルトニ至ツテハ著者ノ尤モ意ヲ用ヒタル所ニシテ又尤モ此書ノ價値アル所以乎加之彼ノ漢字ニ特異ノ和讀ヲ附シタル語ヲ一日ノ下ニ搜索スルヲ得セシメ間々挿ムニ圖畫ヲ以テシ觀者ヲシテ囊中物ヲ搜グルガ如キノ感アラシム活字鮮明紙質精良殆ンド非難スベキノ點ナシ只タ予輩ヲシテ一層望ヲ得セシメバ少シク連語ヲ加ヘ觀者ヲシテ其語ノ適用ヲ知ラシムニアリ發賣所ハ博聞社日進堂團々社支店等ニシテ預約金三圓八十錢ナリ(明治廿一年四月五日發兌第千五百八十六號)



明明  
治治治  
廿廿廿  
年一一年  
八月五年  
廿月四五  
二三十  
日十一  
版日  
權免印出  
許刷版

版權所有者 著者 發行者 印刷者 印行所 賣捌所

東京日本橋區通三丁目十四番地 丸善商社書店  
 東京神田區雉子町三十二番地 丸善商社支店  
 東京神田區小川町十八番地 日進堂  
 東京京橋區銀坐四丁目一番地 博聞社  
 東京京橋區總十郎町十五番地 博聞社  
 東京京橋區八官町十八番地 山口竹二郎社  
 東京芝區三田堂丁目三十六番地寄留 長尾景彌  
 兵庫縣土族 高橋五郎  
 東京府平民 小富美  
 東京芝區西久保巴町三十一番地 林富美





神戶元町五丁目  
 横濱辨天通四丁目  
 大坂北久太郎町  
 大坂北久寶寺町四丁目  
 大坂北久寶寺町  
 大坂備後町四丁目  
 大坂備後町四丁目  
 大坂備後町四丁目  
 大坂備後町四丁目  
 大坂東町四丁目  
 大坂東町四丁目  
 京都東洞院三條上ル  
 京都河原町通二條下ル  
 東京本郷區切通し町  
 東京神田區表神保町  
 東京神田區小川町  
 東京神田區美土代町四丁目  
 東京神田區一ツ橋通り町  
 東京芝區柴井町  
 東京芝區三島町十番地  
 東京京橋區木挽町一丁目  
 東京京橋區銀坐三丁目  
 東京京橋區竹川町  
 東京日本橋區新鼓町  
 東京日本橋區兩國吉川町  
 東京日本橋區本町四丁目  
 東京日本橋區通一丁目

漢英  
對照  
いろは辭典  
取次所

船井政太郎  
 丸善書兵衛  
 柳原喜兵衛  
 九屋佐助  
 三木彦助  
 此岡平助  
 吉岡七助  
 梅原龜七  
 岡島眞七  
 村上勘兵衛  
 大里屋書舖  
 南江書堂  
 中西屋邦太  
 集林成社  
 桃林成堂  
 有斐閣  
 土屋忠兵衛  
 弦卷書館  
 成章館  
 十益商社  
 共益商社  
 瓦明堂  
 鹽島市介  
 文島市介  
 大倉孫兵衛

鹿兒島縣鹿兒島  
 山梨縣甲府常盤町  
 廣島縣廣島橫町  
 廣島縣廣島  
 熊本縣熊本新二丁目  
 長野縣長野  
 長野縣土田  
 長野縣高崎  
 茨城縣土浦  
 千葉縣千葉本町  
 宮城縣仙臺國分町  
 宮城縣仙臺大町四丁目  
 宮城縣仙臺大町四丁目  
 宮城縣仙臺大町四丁目  
 靜岡縣靜岡江川町  
 靜岡縣靜岡山仲ノ町  
 山口縣下關  
 愛媛縣松山  
 佐賀縣佐賀  
 石川縣金澤片町  
 石川縣金澤  
 愛知縣名古屋原町一丁目  
 愛知縣名古屋本町  
 愛知縣名古屋本町  
 函館縣函館大町  
 函館縣函館末廣町大町  
 新潟縣新潟通二番町  
 長崎縣長崎引地町  
 神戶相生橋際

吉田幸兵衛  
 內藤傳右衛門  
 村松善助  
 早崎次郎  
 長崎喜太郎  
 西澤喜太郎  
 鼠屋源造  
 菊屋源造  
 柳旦堂書舖  
 立真堂書舖  
 金港支店  
 伊勢安書店  
 木村文助  
 廣瀨市藏  
 細野謹治  
 立野榮平  
 土肥與會  
 書籍會  
 益野知會  
 牧野作平  
 村松五代郎  
 川野代助  
 片野東四郎  
 魁文社  
 常野嘉兵衛  
 井野駒吉  
 旭野常堂

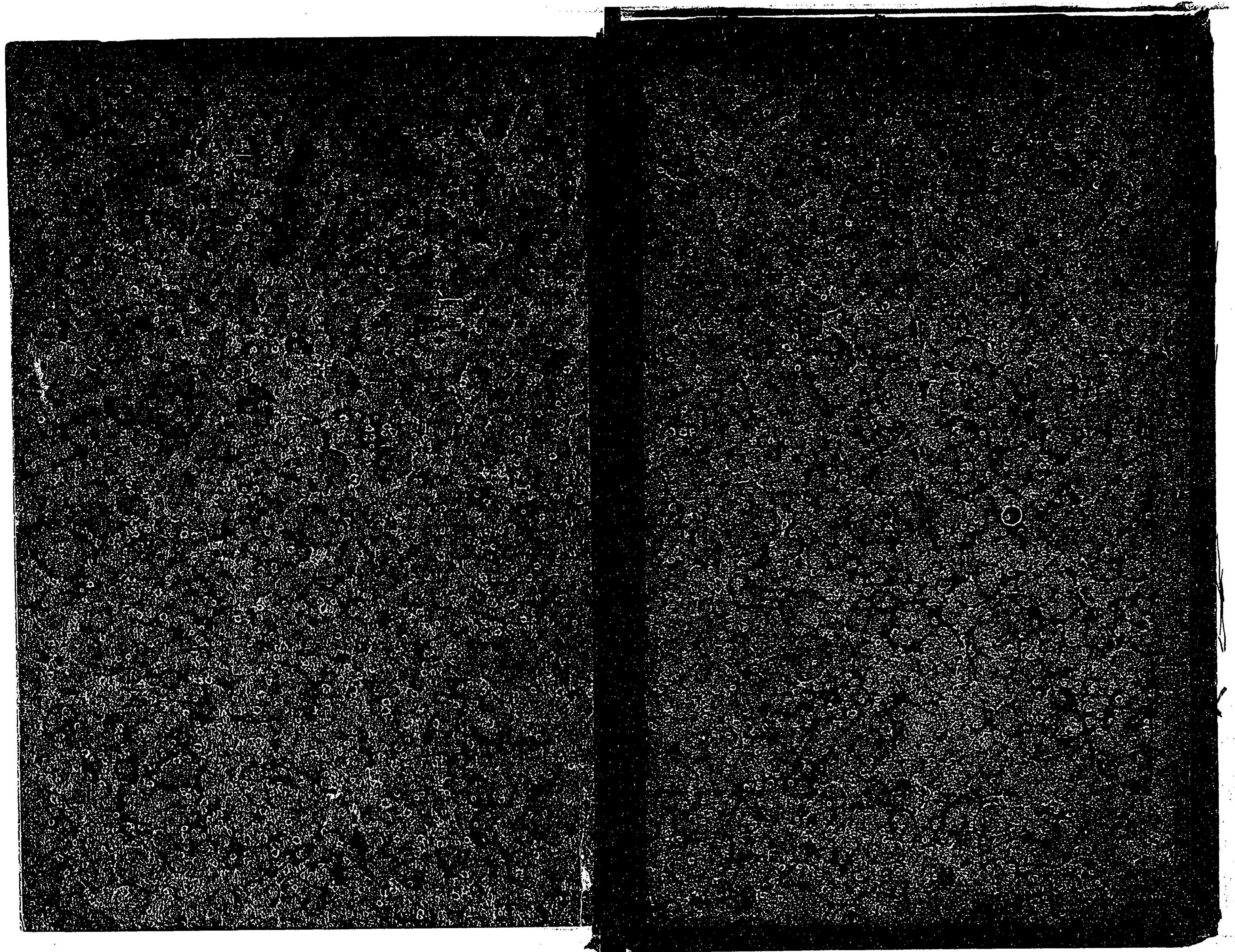


7752  
2

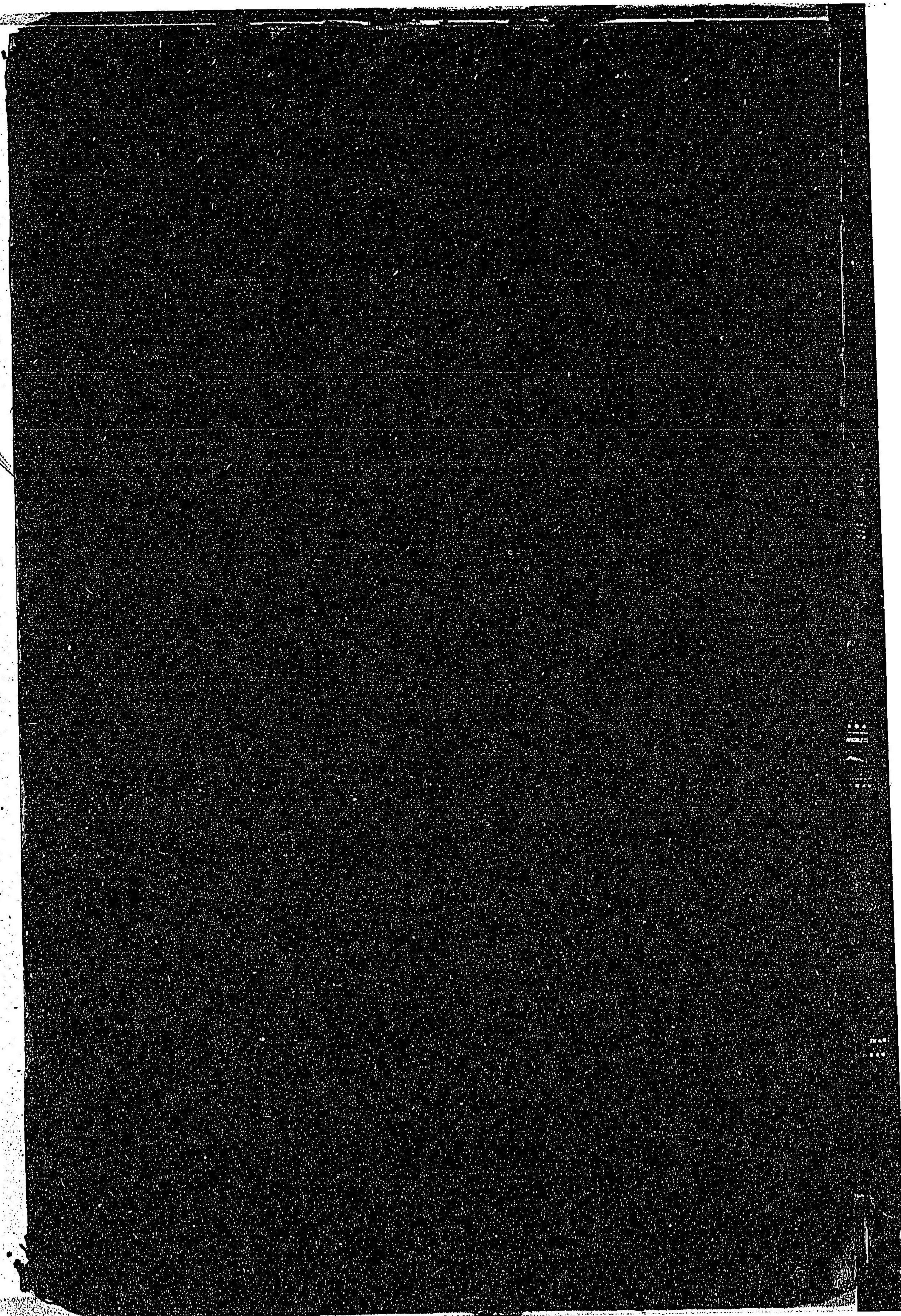
12039

104











204630-000-6

特70-533

いろは辞典

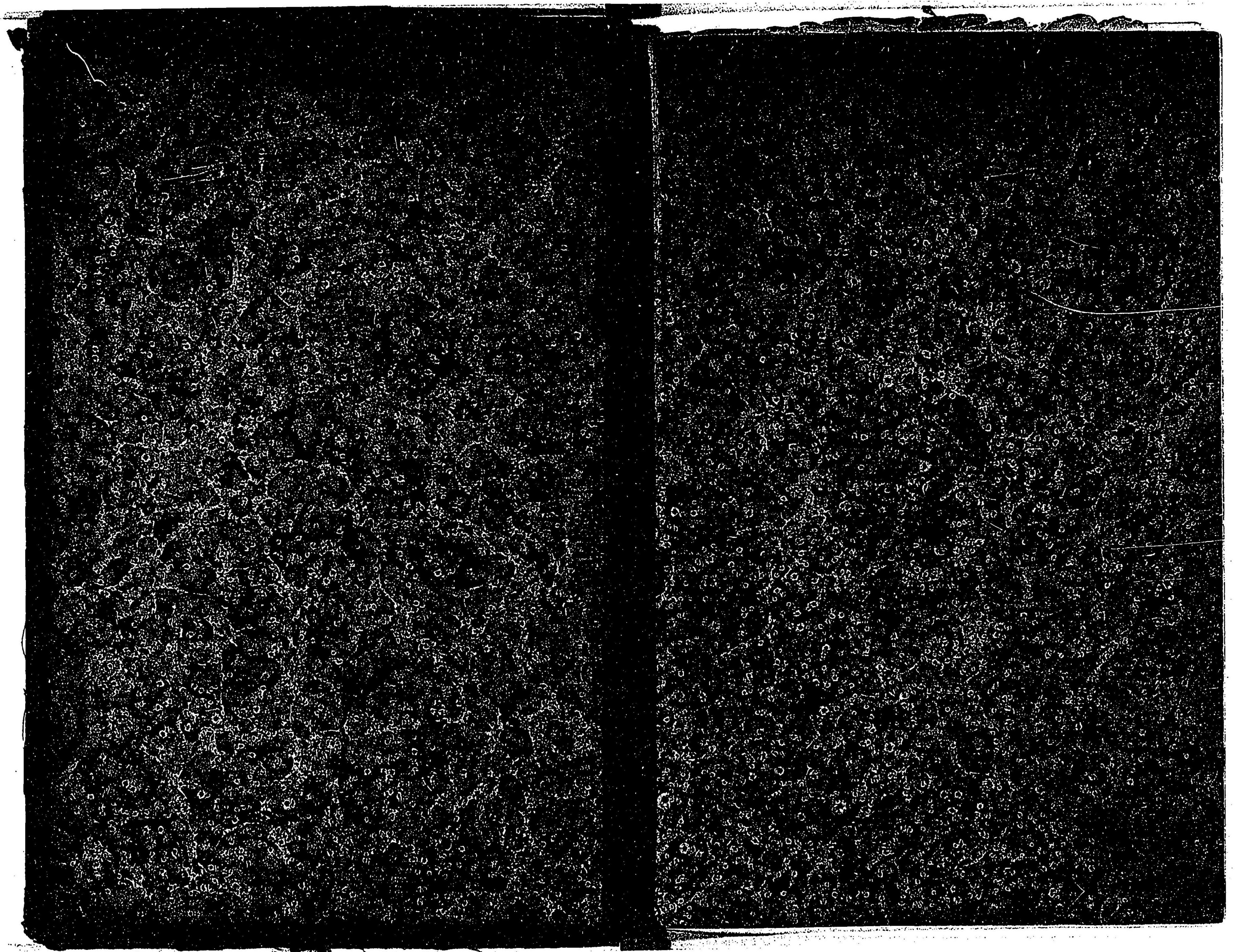
高橋 五郎/著

M21

EDT-0002









5029

夕  
工  
折